

上池袋地区

題字：西村鶴洞 氏

No.57

まちづくり～生活環境の向上をめざす～ニュース

第 2・3・4 地区 (上池袋2・3・4丁目の範囲)



上池袋のまちづくりが動いています！

上池袋2・3・4丁目では、【東京都木造密集地域不燃化10年プロジェクト】が、下記の通り、様々な形で動いています。

第2・3・4地区協議会では、それらの内容について確認しながら必要に応じて適宜検討し、町会等を通じて地域の皆様に周知する活動を行っています。

また、東京都による補助82号線のみちづくりについては、前号でお知らせした通り、事業認可されました。しかしながら、鉄道との立体交差化の具体的な設計は未だ公表されていません。

本協議会では、地域の皆様からの意見をまとめた「まちづくり提言書」にもとづき、区と連携しながら、今後も、情報収集と周知に努めていきます。

まちづくりのスケジュール (予定)

- 平成27年10月：
「新たな防火規制」の施行
- 平成27年12月：
地区計画等案の公告・縦覧・意見書募集
- 平成28年3月：
地区計画の都市計画決定
- 平成28年4月：
都市防災不燃化促進事業による助成開始
- 現在～平成33年3月まで
不燃化特区の助成制度

【上池袋2・3・4丁目におけるまちづくりルールや助成制度】

対象範囲	まちづくりルール	助成制度 (※対象要件有)
上池袋2・3・4丁目全域	新たな防火規制 地区計画[予定] 用途地域の変更[予定]	不燃化特区 (戸建建替え促進助成、老朽建築物除却助成、専門家による建替え相談等)
補助82号線沿道30mの範囲	防火地域の指定[予定] 地区計画[予定] 用途地域の変更[予定]	都市防災不燃化促進事業[予定] (建築費助成、除却費助成、仮住居費助成等)

👉 ご連絡お待ちしております！

まちづくり協議会ではご参加いただける方を募集しています。詳しくは下記事務局までお問い合わせ下さい。

〒171-8422 東京都豊島区南池袋2-45-1
豊島区都市整備部 地域まちづくり課 TEL 3981-1464

平成27年12月発行「上池袋地区まちづくりニュースNo.57」
企画・編集・発行：上池袋地区まちづくり協議会・上池袋まちづくり協議会事務局 (豊島区都市整備部地域まちづくり課)
編集協力：防災都市計画研究所 TEL 3262-6376

「池袋第一小学校の建替え等を考える会」に 防災面での提案を行いました。

池袋第一小学校では、施設老朽化のため、右スケジュールの通り、建替えが予定されています。

平成27年4月、学校・地域・豊島区で構成する「池袋第一小学校の建替え等を考える会」が設立されました。会では学校施設づくりの様々な条件を整理し、基本的な考え方(基本構想)を協議しています。

そこで、上池袋第2・3・4地区まちづくり協議会では、池袋第一小学校が災害時に救援センターとして重要な役割を持つことから、災害時における活用などの防災面での提案を「池袋第一小学校の建替え等を考える会」に行いました。

詳しい内容は、次ページをご覧ください。

池袋第一小学校建替え スケジュール (予定)

- 平成28年度 : 基本設計
- 平成29年度 : 実施設計
- 平成30年度 : 建設開始
- 平成32年度 : 新校舎供用開始



第2・3・4地区協議会の様子

「車いすを使ったまち歩きマップ」を作成しました。



上池袋第1地区まちづくり協議会では、平成27年5月16日、車いすを使って上池袋一丁目のまちを歩き、災害時の危険な箇所について確認し、まち歩きマップを作成しました。

まち歩き当日は、昭寿会の皆様はじめ、地域住民の方々にご参加いただき、様々な気づきを話し合いながら、楽しく開催することができました。ご参加頂きありがとうございました。

詳しくは、次ページをご覧ください。

「池袋第一小学校の建替え等を考える会」に 防災面での提案を行いました！



第2・3・4地区協議会では、災害時の救援センターでもある池袋第一小学校の建替えに伴い、下記の内容を「池袋第一小学校の建替え等を考える会」に提案しました。

【提案概要】

1. 避難場所としての機能確保

- ①池袋第一小学校への避難路の確保。
- ②建物不燃化と樹木による延焼遮断。
- ③学校南東側の行き止まり道路の解消。

2. 消防水利としての機能確保

○学校プールは、下図の通り地域にとって貴重な消防水利といえることから、地域の消火活動に資するようなプールの配置と活動動線の検討。

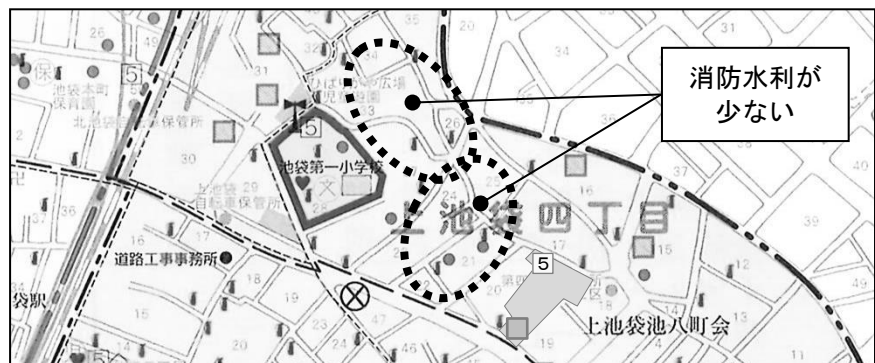
3. 避難所としての機能確保

- ①災害時に、車両と避難者の交錯による二次被害防止となるように、各出入り口を分けた設計。
- ②ひばりがや広場が、避難所のバックヤードとなるように、学校と広場の一体的な整備。
- ③学校を早期再開できるように、避難所機能と動線を分けた設計。
- ④防犯面を考慮したマンホールトイレの設置やプールからの排水利用など、十分なトイレ機能確保のための設計。
- ⑤その他、太陽光発電設備など防災設備の導入。

4. ソフトを検討するための場の設置

建替え後においても、下記についての検討が重要であることから、ソフト対策を検討する場を設けること。

- ①豊島区救援センター開設標準マニュアルにもとづく、災害時の施設利用計画や、避難所運営ルール・生活ルールづくり。
- ②避難所の収容人数は限られていることから、在宅避難者を増やすための方策の検討。(在宅避難者への対応ルールづくり、地域への普及啓発など。)
- ③避難者が他の施設(例：補助救援センター・区民ひろば上池袋)へ直接避難することに伴う混乱を避ける方法の検討。(二次避難所・病院等への移送についてのルールづくり、各施設との連携、地域への普及啓発など。)
- ④災害時に、くすのき公園との連携を図るための利用計画の検討。
- ⑤災害時に、近隣事業者が持つ敷地を駐車場として活用できるように、区と事業者との協定締結のための検討。



防 災 井 戸	
⑤	防 災 貯 水 槽 (5 m ³)
■	消 防 水 利 (防 火 水 槽)
■	消 防 水 利 (プ ール 等)

池袋第一小学校周辺の消防水利

出典：豊島区防災地図にくすのき公園水利を追加

「車いすを使ったまち歩き マップ」を作成しました！



第1地区協議会では、災害時の避難路点検として、車いすを使ったまち歩きで、まちの課題の確認と道路幅員の計測を行い、下図の「まち歩きマップ」にまとめました。

車いすで移動すると、少しの段差でも負担が大きいため、普段歩くだけでは気付かない、右のようなことが実感できました。

ベビーカーでも同じ課題を持つことから、小さな子を持つご家族など、普段、車いすを使っている方ばかりでなく、多くの皆さまに災害時にどのような避難路を使うと安全か、自宅周辺を点検して頂きたいと思います。

協議会では、今後、災害時に地域で所有する車いすの活用方法などを検討していきます。ご興味のある方は是非ご参加下さい。



車いすでの気づき、分かったこと

- 車いすに乗ると視線が下がり、災害時の塀や室外機の転倒の心配をより強く感じる。
- 狭い曲がり角や、凸凹の道路は、操作が難しい。
- 坂道では、車いすを後ろ向きにしないと転倒する危険がある。
- 段差では、車いすのステップングバーを踏んで前輪を段差の上に乗せてから、後輪を段差に押し付けて上げる。
- 道路断面が少しでも傾斜している所では、速く移動すると道路端に寄ってしまう。
- ベビーカーも、車いすと同じ上記の課題を持つ。
- 地域で所有する車いすの維持管理が重要。



車いすを使ったまち歩きマップ